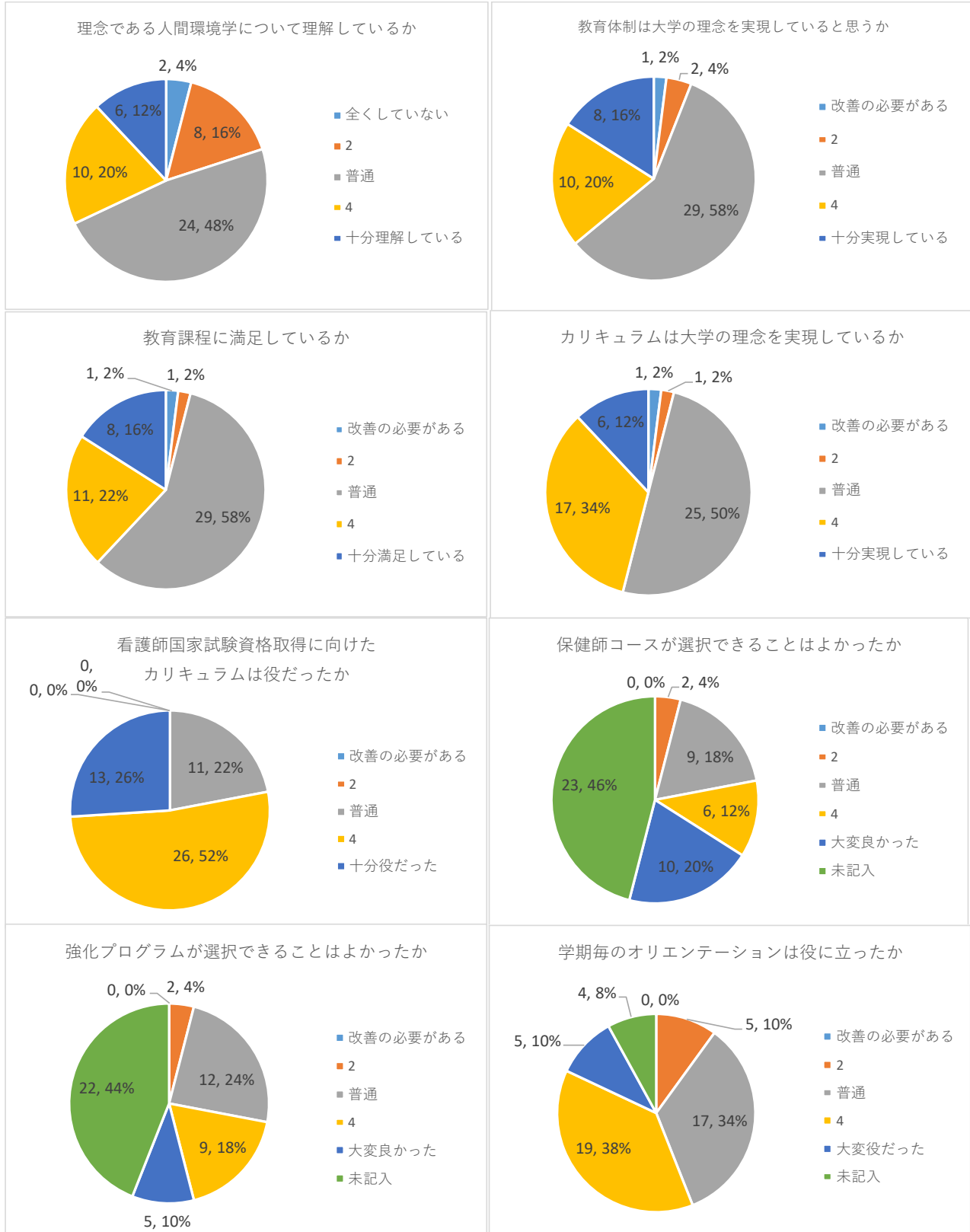


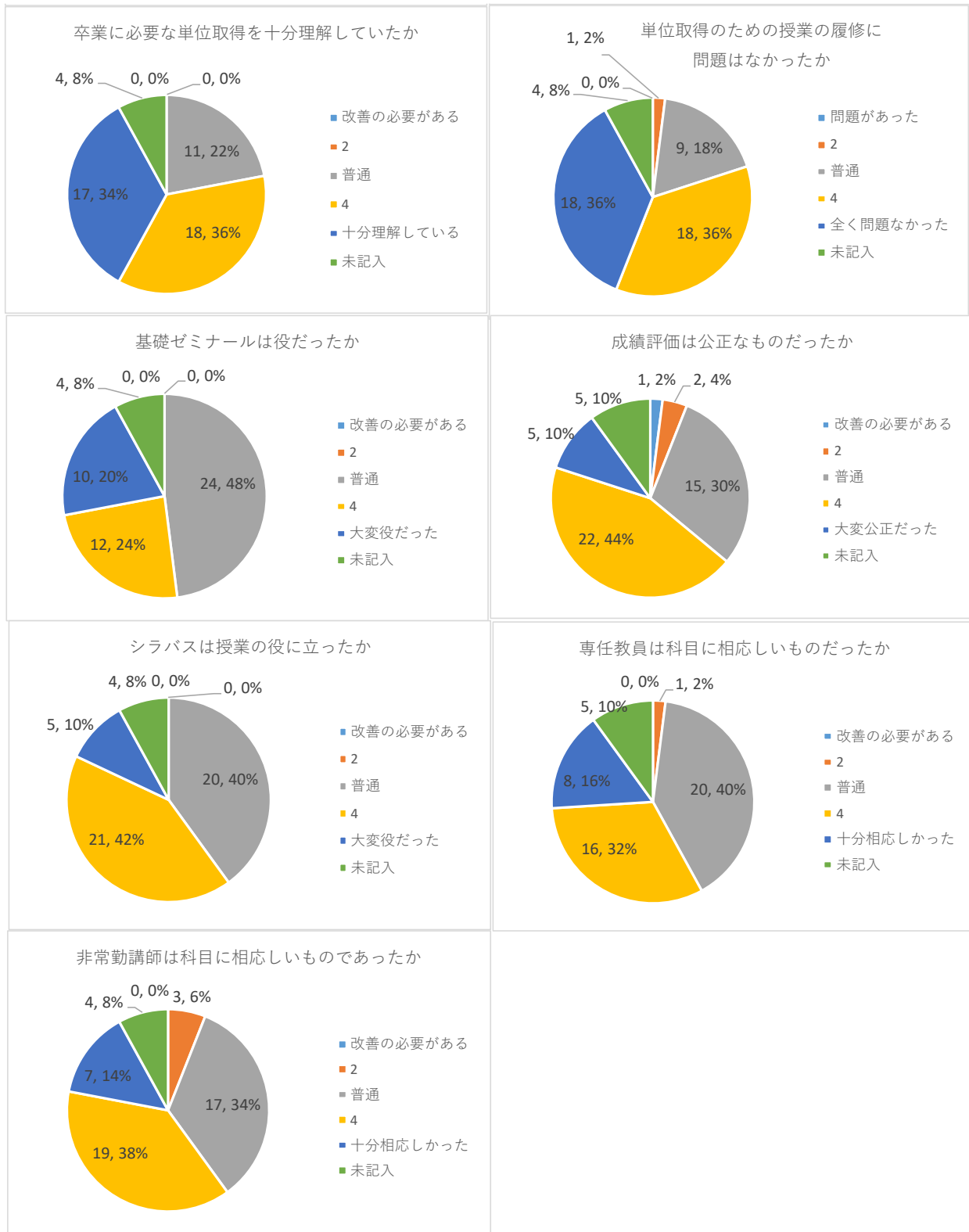
令和2年度人間環境松山看護学部 卒業時大学評価アンケート結果

回答数：50/50名（回答率100%） 実施日：令和3年2月17日 方法：紙媒体

I. 大学の理念及び教育課程について

（単位：回答人数,パーセント）

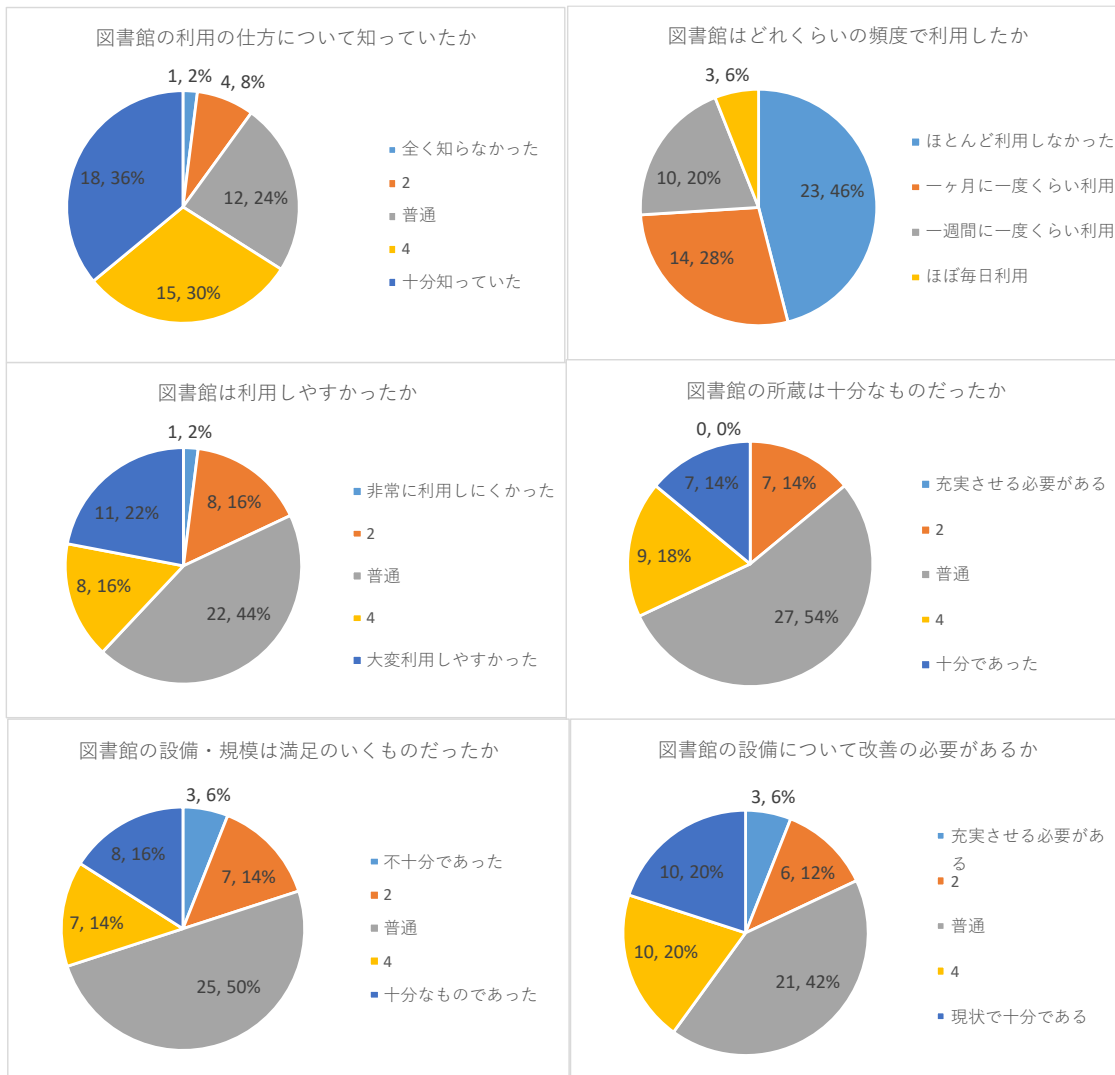




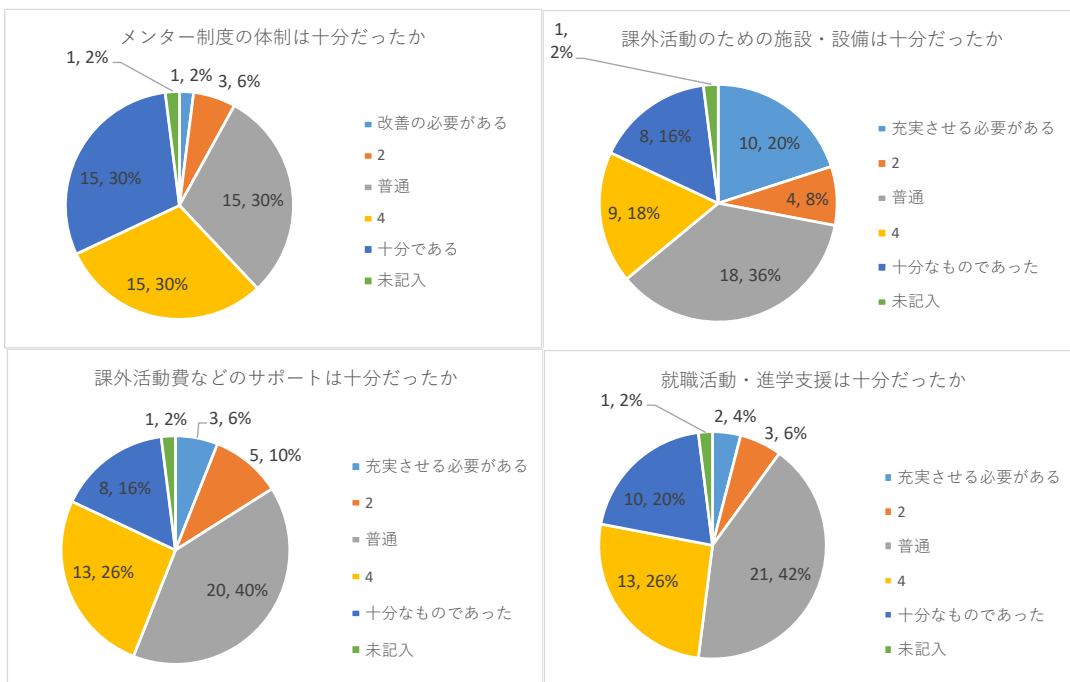
< I のまとめ >

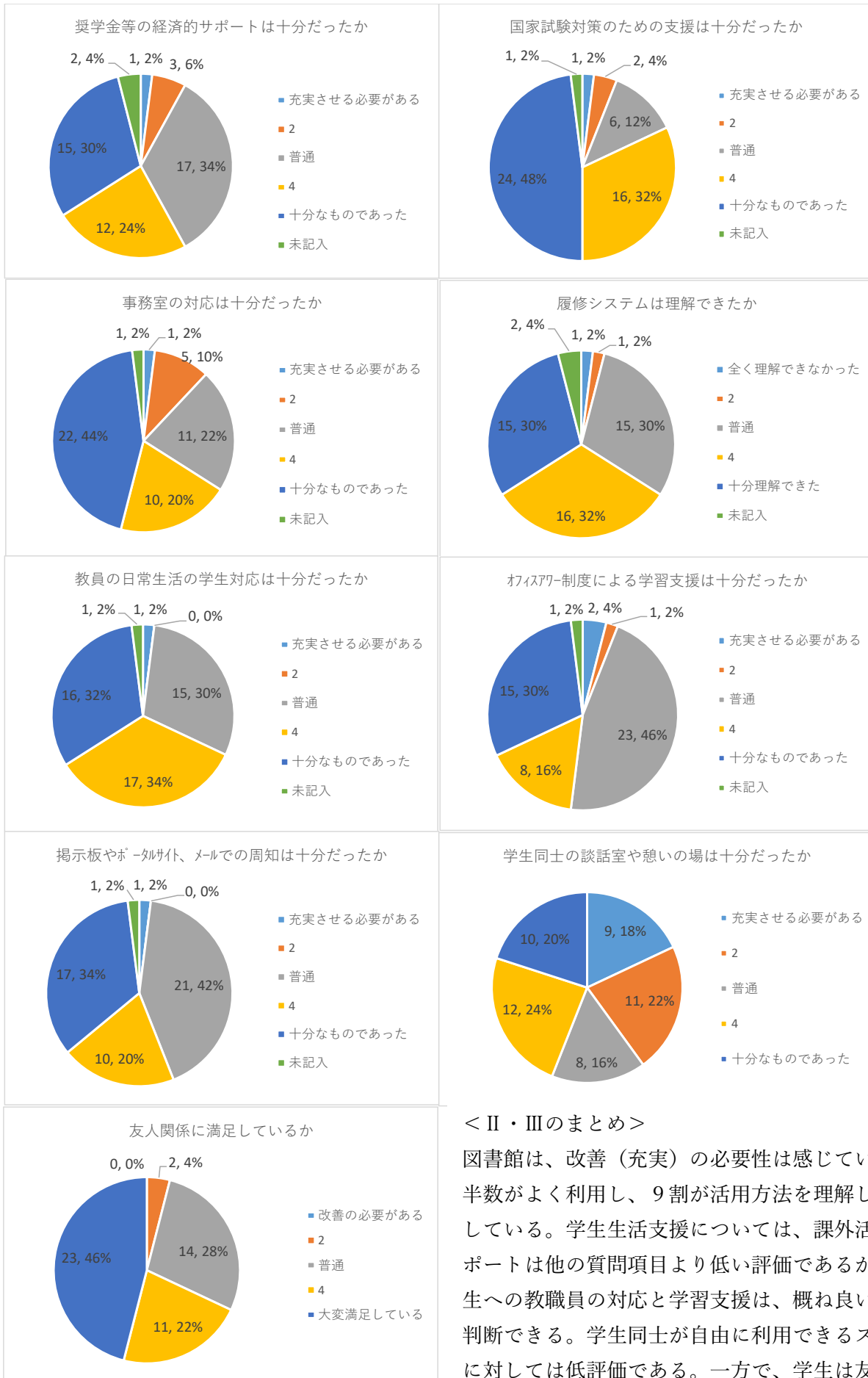
理念及び教育課程については、「普通」以上が80~100%と概ね良い評価が得られている。選択コースについては、未記入者が多く評価がむつかしいが、改善の必要性は感じていない。国家試験対策への評価は100%が満足している。また、学生は単位取得のための履修方法、ゼミナール、教員、シラバスには、ほとんどが改善の必要性を感じていない。

II. 図書館および図書などの学術資料について



III. 学生生活および学生支援について

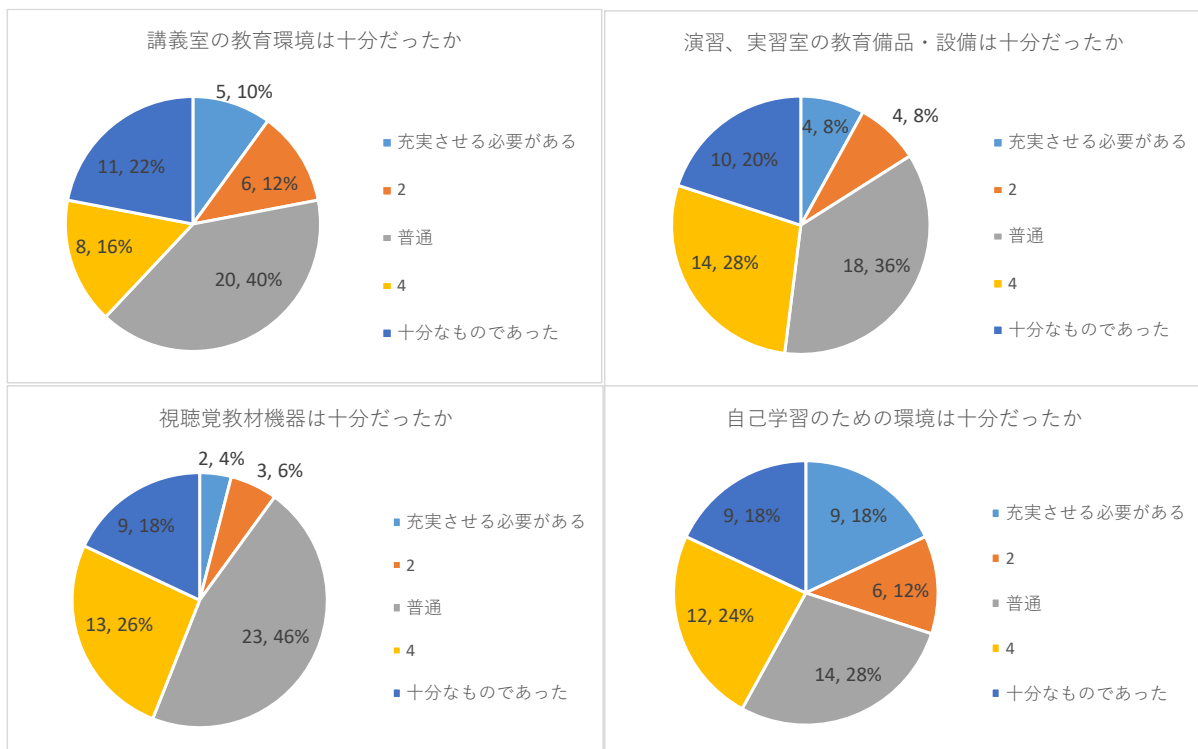




< II・IIIのまとめ >

図書館は、改善（充実）の必要性は感じているが、半数がよく利用し、9割が活用方法を理解して利用している。学生生活支援については、課外活動のサポートは他の質問項目より低い評価であるが、对学生への教職員の対応と学習支援は、概ね良い評価と判断できる。学生同士が自由に利用できるスペースに対しては低評価である。一方で、学生は友人関係には満足している。

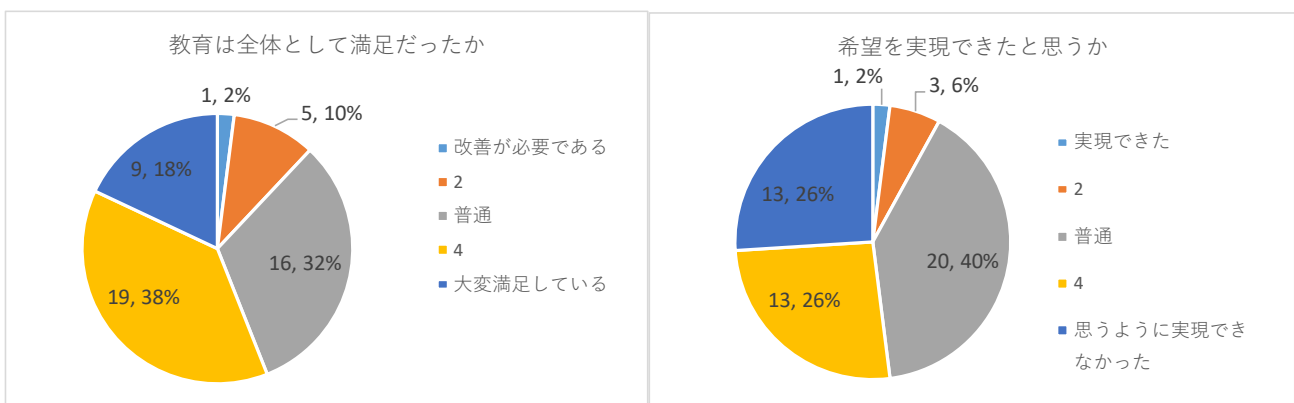
IV. 大学の設備・教育環境について



<IVのまとめ>

自由学修のためのスペース、講義室の環境はやや低い評価である。演習室、実習室については、演習ができる環境への改善が必要である、と回答した人が他の質問項目に比べて多い。

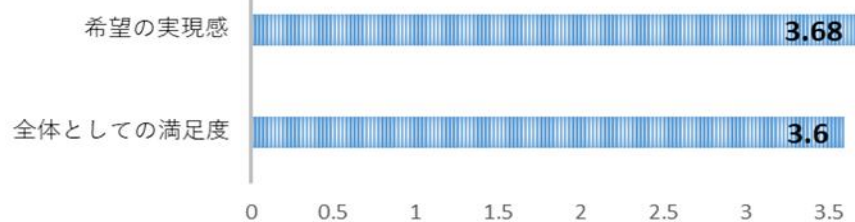
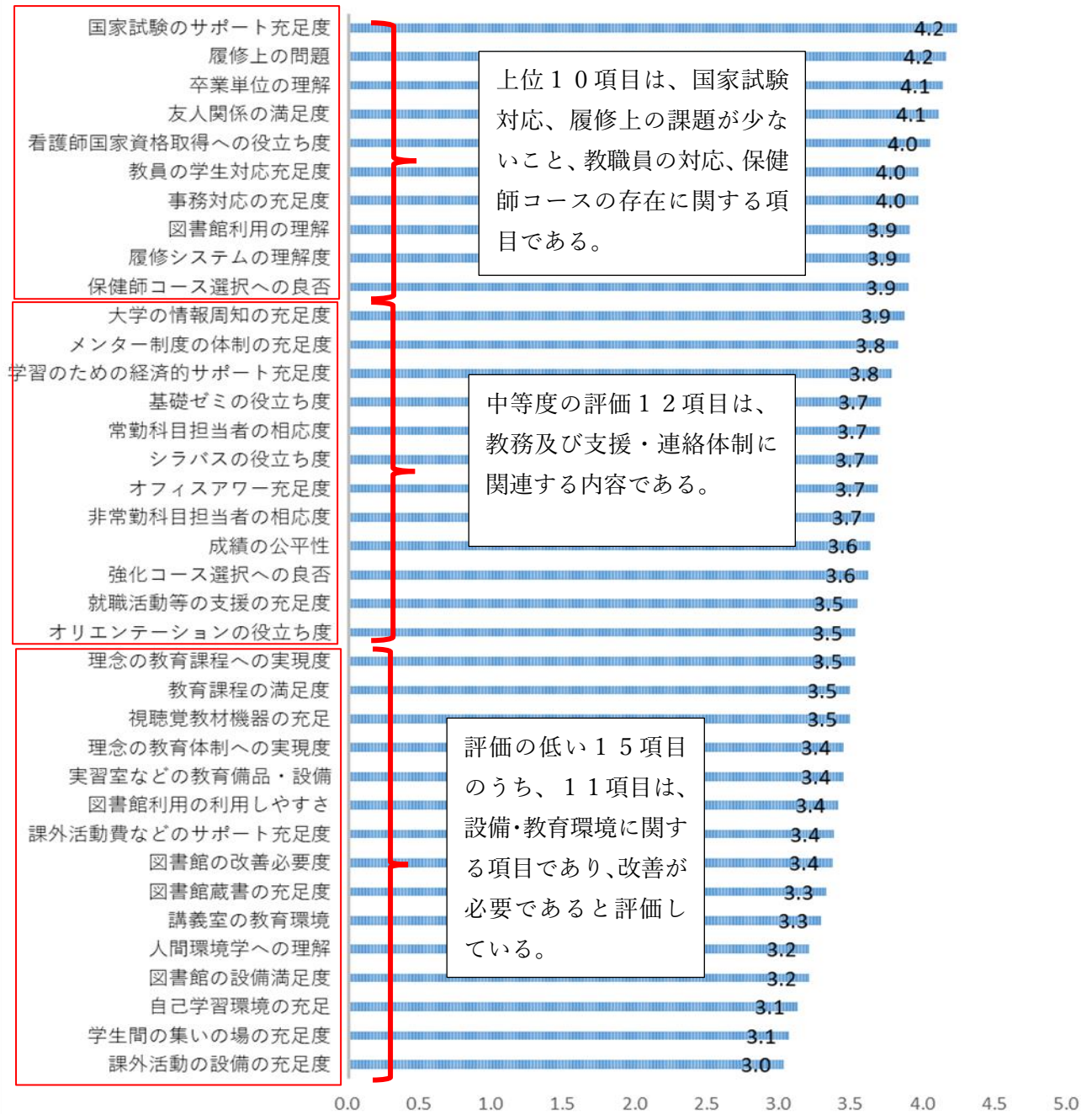
V. 総合評価



<Vのまとめ>

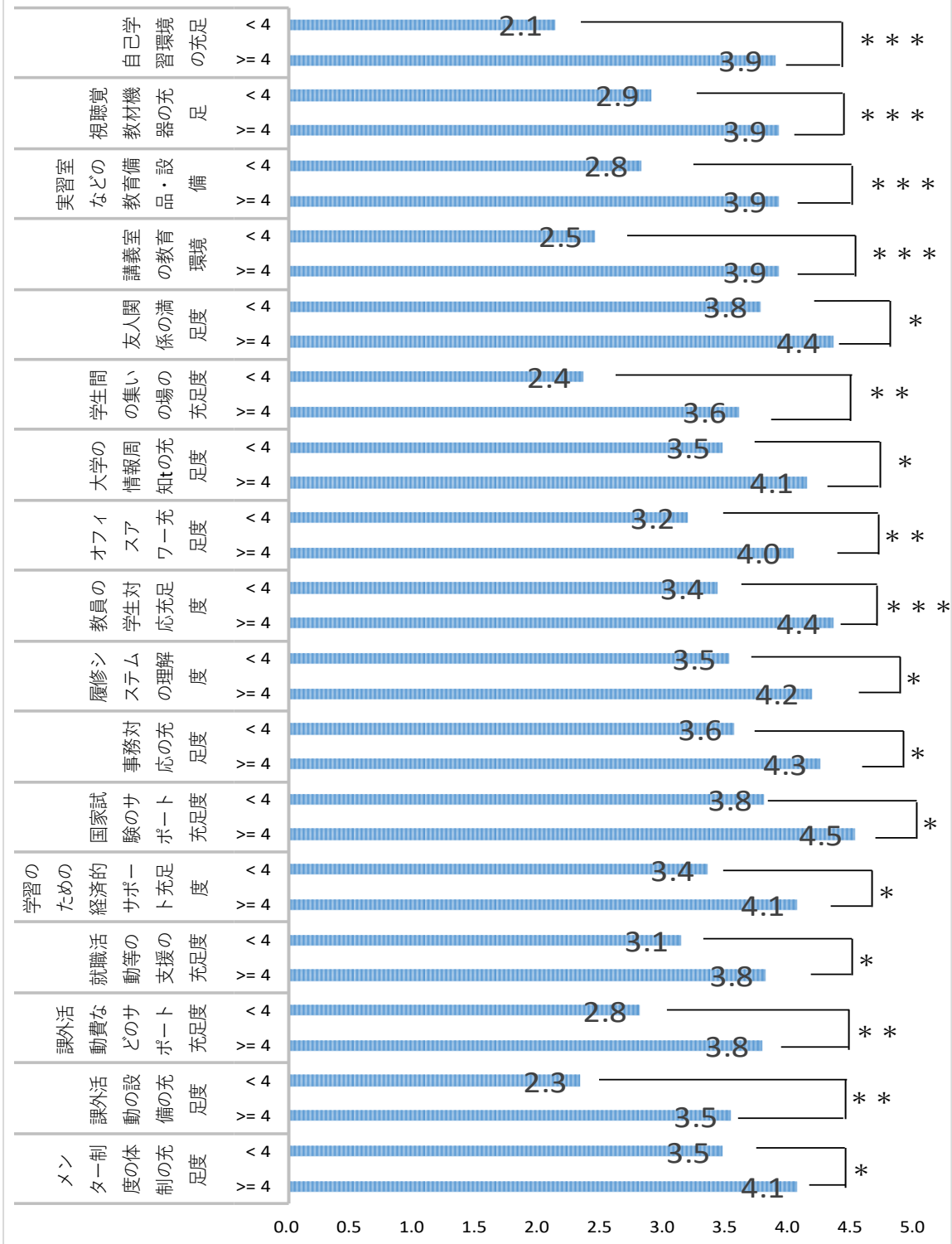
総合的に、8~9割の学生が、自己実現ができ全体的に満足していると回答している。一方で、改善を希望している学生も1割程度は存在する。

全項目の平均順位



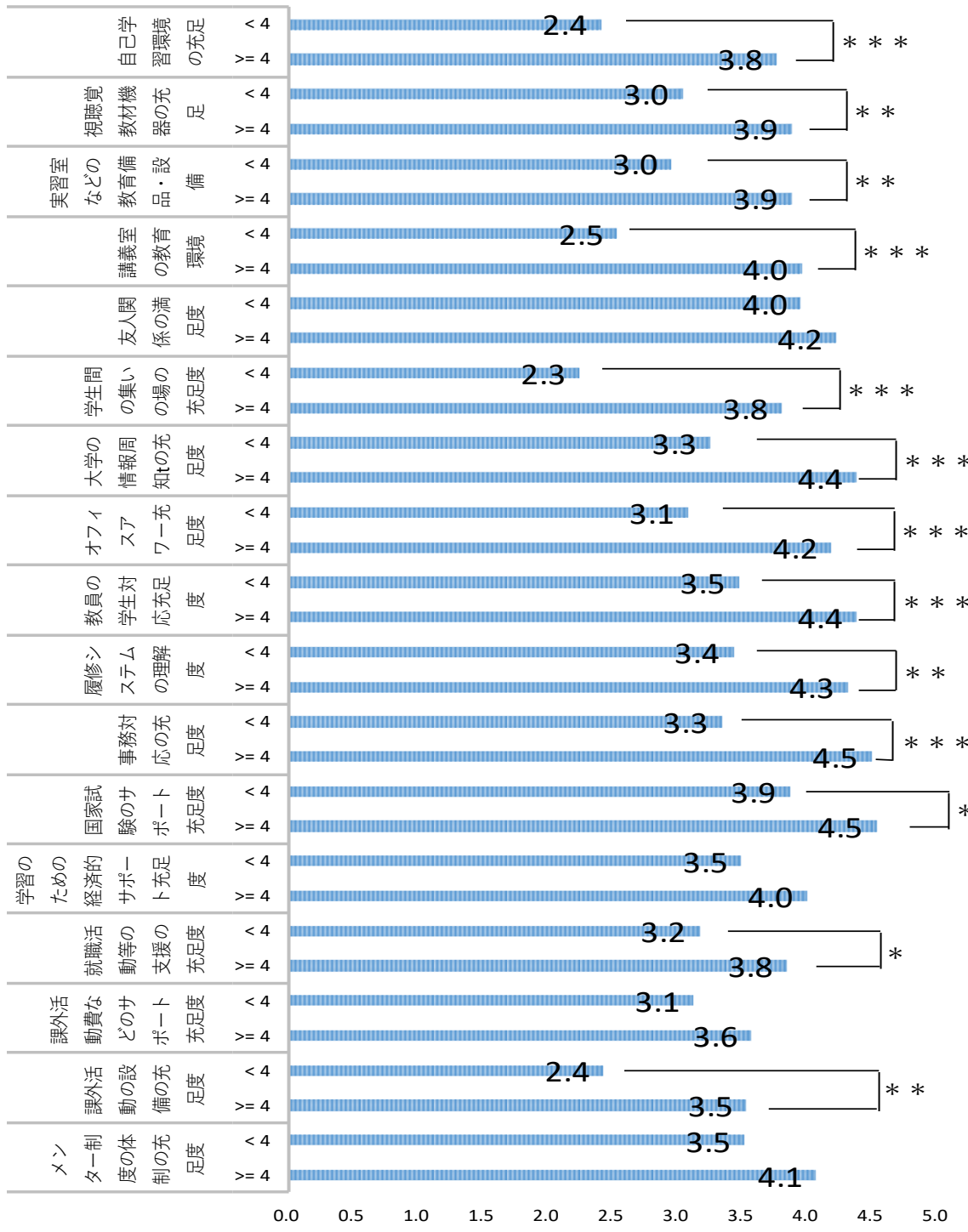
全体的に、学生はまずまずの満足感と、自己実現感を感じて修了している。

全体の満足度と学生支援との関係



学生の満足度は、質問の全項目が影響する。学生満足度を高めるためには、全体的・総合的な底上げが必要である。

希望の実現感と学生支援との関係



友人関係の満足度、経済的サポート充実度、課外活動費のサポートなど、あるいはメンター制度の充実、統計上では自己実現感の高低と関連がなく、学生が抱く希望の実現感、教職員の直接的教務関連の支援と学修環境の整備に影響されている。